

臨床放射線

編集委員

今井 裕
後閑 武彦
栗原 泰之
橋本 順
森 壘
中村 和正

編集協力委員

畠中 正光
小川 恭弘
松永 尚文
森 宣
村田 喜代史
淡河 恵津世
西山 佳宏

編集後記

▶ 本号の特集は、10月号に続き「診断の決め手となった画像・所見」の消化器領域です。近年では、画像診断装置の進歩により、以前は診断の困難であった微細な所見の描出や、新しい撮像法の導入により、これまで診断のできなかった疾患や病期診断ができるようになりました。しかし一方で、同じ腫瘍でも組織成分や腫瘍の発育段階によって画像所見が変化することは、これまで多くの臨床の場において経験されていることと思います。そのため、鑑別診断は挙げられても確定診断の難しい場合があります。さらに近年では、病理診断学における免疫染色の登場のように、新しい抗核抗体を含む種々の検査データが確定診断に繋がることも決して少なくありません。本特集では、消化器疾患において我が国で現在最も活躍されている各領域の専門家の先生方に診断の決め手となる画像所見や検査所見等について、詳細に解説して頂きました。いずれの著者も、疾患概念を深く理解し、多くの画像の中から診断の決め手となった所見について、実際の画像を提示しながら詳細に解説されておられます。我々が日常診療の中で診断に苦慮する際に、どのような所見に着目し、その所見からどのような病態かを推察すべきなのか、何を根拠にその疾患であると確定診断をすべきなのかを学ぶことができます。読者の皆さまも、ぜひ一読頂き、明日からの日常診療に役に立てて頂ければ幸いです。

▶ 新型コロナウイルス感染症も、先月からやっと新規感染者数ならびに重症患者数が減少傾向となり、長く続いた緊急事態宣言も解除され、従来の日常生活に戻つつあります。このような急な新規患者数の減少の要因は、やはりワクチン接種の懸命な普及により、集団の一定以上の割合の人が免疫を付けると、感染者が出ても他の人に感染しにくくなる、いわゆる集団免疫の効果であったと思われ、とても貴重な経験でありました。しかし、海外ではコロナ感染者の増えている国もまだ多く、決して予断を許しません。新型コロナウイルス感染症が地球から終息するように、これからも基本的な感染対策を継続していきたいと思えます。

今井 裕

「臨床放射線」第66巻第12号

2021年11月10日発行（毎月10日発行）

定価 2,860 円（本体 2,600 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 43,670 円（本体 39,700 円＋税 10%）

[年間13冊（臨時増刊号を含む）の誌代]

年間予約購読者に限り送料無料

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03 (3811) 7165 編集部直通

TEL 03 (3811) 7184 営業部直通

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社

広告申込先 福田商店 TEL 06 (6941) 5600

FAX 06 (6941) 5605

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。